

職務経歴書

2025 年 02 月 06 日現在

ふりがな		レバミン	
氏 名		LE BA MINH	
生年月日	性別	男	
1986 年 12 月 12 日生(39 歳)			
ふりがな		ヒョウゴケンカトウシシモタキノ3チョウメ139パークサイドビュー102	電話
現住所			08081222132
〒679-0212 兵庫県加東市下滝野3丁目139 パークサイドビュー102			E メール minhquyen314@gmail.com

略歷

ハノイ国家大学卒業前後にベトナムの企業へ入社し、社内研修においてさまざまなプログラミング言語を用いた実習を受け、ITの基礎技術を身に付けました。技術の進歩は日進月歩であり、これで終わりということはないと心得ており、今後も技術を磨き続ける姿勢に変わりはありません。

職務經歷

職務	職務内容と主な保有技術
(ベトナム) VIETTELGLOBALJSC 会社 (計3年)	モバイルアプリ、PCソフトウェア、ウェブアプリケーションの開発を担当しました。 VIETTEL GLOBAL JSCのソフトウェア部門において、本社と海外支社の連携を強化するため、モバイルアプリ、PCソフトウェア、ウェブアプリケーションを活用した大規模プロジェクトを推進しました。
ベトナム) MKGROUP 会社 (計1年)	モバイルアプリ、PCソフトウェア、ウェブアプリケーションの開発を担当しました。 MKGROUPは、MIFAREカード、PROXIMITYカード、MAGNETIC STRIPEカード、RFIDカードなどの各種カードを制作する企業です。 MKGROUPのソフトウェアおよびシステム部門において、さまざまな端末上でNFCを使用してカードをタップするシステムの開発を行いました。さらに、同社の特別な端末向けにアプリケーションの開発も担当しました。また、シンガポールや南アフリカの顧客の要望を理解するためにチャットでやり取りを行い、その後プロジェクトを進めました。
(ベトナム) 株式会社技術 GVN (計1年)	モバイルアプリ、PCソフトウェア、ウェブアプリケーションの開発を担当しました。 株式会社技術GVNは、ソフトウェアのアウトソーシングを提供する企業です。 同社において、主にさまざまなスマートフォン向けアプリケーションの開発を担当し、いくつかの大規模プロジェクトを成功させました。

<p>(日本)</p> <p>東洋電制製作所</p> <p>(今まで計2年)</p>	<p>社内SEとして生産システムの開発を担当しました。</p> <p>東洋電制製作所は電力関連の企業です。現在、生産品質統括部に所属し、社内向けのPCソフトウェアやタブレットアプリケーションの開発を行っています。また、ロボット工学を学び、研究にも取り組んでいます。これまでに、いくつかのプロジェクトを成功させました。</p>
<p>(日本)</p> <p>株式会社キャンパス</p> <p>(今まで計2年)</p>	<p>モバイルアプリ、PCソフトウェア、ウェブアプリケーションの開発を担当しました。</p> <p>株式会社キャンパスはソフトウェアのアウトソーシングを提供する企業です。同社において、PCおよびさまざまなスマートフォン向けアプリケーションの開発を担当し、ゲームの開発にも携わりました。これまでに、いくつかの大規模プロジェクトを成功させました。</p>
<p>(日本)</p> <p>現在会社</p> <p>(今まで計3年)</p>	<p>主にウェブシステムの開発と運用に従事しています。特に、Kubernetesを活用したシステムの開発および管理に力を入れており、クラウド環境でのアプリケーションのスケラビリティと可用性を最適化することに成功しました。</p> <p>また、ソフトウェア開発の現場では、BitbucketやJira、Confluenceといったツールを活用して、3～5人の開発チームを管理してきました。チームメンバーとの密なコミュニケーションを通じて、プロジェクトの進行管理やタスクの割り振り、仕様書の作成などを効率的に行い、チーム全体のパフォーマンスを最大化しています。</p>

取得日	免許・資格
2015 年 06 月	<p>ハノイ国家大学のMechanics and Informatics</p> <p>(Mathematics, Mechanics and Informatics Engineering) の学士号を授与されました。</p>
2020 年 11 月	運転免許証を取りました。

仕事への姿勢

私は新しい技術に特に熱中してきた人間です。常に新技術を究めたいという思いがあり、これまで新しい技術の習得を目的として、日本へ転職いたしました。

技術の進歩は日進月歩であり、これで終わりということはないと心得ており、今後も技術を磨き続ける姿勢に変わりはありません。ただ、これまでは幅広く技術を習得することを重視してきましたが、今後は一つの職務に専念し、技術の深さを追求していきたいと考えるようになりました。

そのような中で、貴社がIT分野で求人募集をされていることを知り、ぜひ私の長年培った技術で貢献したいと考え、応募いたしました。採用いただけたら、貴社に長く勤める覚悟であり、簡単な業務から困難な業務まで幅広く遂行する所存です。